

# 役場の人事異動

平成十六年四月一日付（は旧任）

▼退職（三月三十一日付）

退職 二瓶洋輔（出納室主幹兼室長補佐兼出納係長）

▼総務課

副主幹兼財政係長 村上昭（財政係長）

主任主査 郡司治子（税務課主任主査）

主査 二瓶 淳（派遣 田村広域行政組合）

▼税務課

主幹兼課長補佐 吉田久夫（生涯学習課主幹兼ふるさと文化の館館長）

副主幹兼資産税係長 郡司 功（資産税係長）

主 事 鈴木淳子（議会議務局書記）

▼町民課

主任主査 先崎淳子（農業委員会主査）

▼保健課

課長補佐 阿部京一（課長補佐兼国保年金係長）

国保年金係長 西牧泰弘（福祉課高齢福祉係長）

主 査 折笠裕之（主事）

▼福祉課

副主幹兼高齢福祉係長兼保健師 根本 要子（副主幹兼保健師）

副主幹 郡司幸喜（主任主査）

専任保健師 橋本美喜子（保健課専任保健師）

主任主査 生天目かつえ（大越町技術吏員）

▼農 林 課

副主幹兼国土調査係長 先崎英典（国土調査係長）

主任主査 赤坂泰秀（主査）

主任技師 矢吹浩司（専任技師）

▼企画交流課

主任主査 渡辺みき（町民体育館主査）

▼出 納 室

主幹兼出納係長兼審査係長 国分竹子（主幹兼審査係長）

主任主査 西牧貴子（企画交流課主査）

▼水 道 課

水道課兼務 宗像喜也（農林課副主幹兼農林土木係長兼工事検査員）

▼中央さくら保育園

副主幹兼栄養士兼調理士 石井小百合（専門栄養士兼調理士）

副主幹兼保育士 草野ゆかり（小野わかば幼稚園副主幹兼教諭）

専門保育士 根本早苗（専任保育士）

保育士 渡辺梨恵（浮金つつじ児童園児童厚生員）

調理士 塩田淳子（調理員）

▼夏井おおすぎ保育園

専門保育士 矢吹真由美（専任保育士）

▼浮金つつじ児童園

副主幹兼児童厚生員 会田由紀子（中央さくら保育園副主幹兼保育士）

▼教 育 課

主幹兼課長補佐 吉田昭二（派遣 小野町社会福祉協議会）

▼生涯学習課

\*公民館  
参事兼課長兼公民館長兼ふるさと文化の館館長兼勤労青少年ホーム館長 籾田良作（参事兼生涯学習課長兼公民館長兼勤労青少年ホーム館長）

主任主査兼社会教育主事 佐藤金哉（主査兼社会教育主事）

\*ふるさと文化の館  
副主幹兼学芸員 今泉令子（主任主査兼学芸員）

司書兼学芸員 清水綾子（町民課主事）

▼小野わかば幼稚園

副主幹兼教諭 小沼和子（専門教諭）

専任教諭 宗像美津江（中央さくら保育園専任保育士）

▼議会議務局

書 記 吉田由起子（総務課主事）

▼農業委員会

主 事 先崎 悟（保健課主事）

▼派 遣（三月三十一日付）

公立小野町地方総合病院組合 仲野谷 博（総務課）

社会福祉法人小野町社会福祉協議会 上遠野 眞（教育課主幹兼課長補佐）

福島県実務研修生 折笠顕（総務課主査）

## 国民年金コーナー

### こんにちは、

### 国民年金推進員です。

国民年金保険料の収納事務は、国で取り扱うことになり社会保険事務所に国民年金推進員が配置されました。

国民年金推進員は、みなさんのご家庭に直接お伺いさせていただきます。国民年金制度の説明や保険料の収納などを行っております。みなさんが、年金を安心して受け取れるように、一生懸命お手伝いさせていただきます。

なお、国民年金推進員は、土曜、日曜や夜間もご家庭を訪問させていただきます。

不審電話や社会保険事務所職員に成りました調査等が、各地で発生しておりますが、国民年金推進員は、不審な者と間違われぬように、身分証明書を携帯しておりますのでよろしくお願いたします。

詳しくは、郡山社会保険事務所（☎〇二四一九三三—三四八〇）または、役場保健課国保年金係（☎七二—六九三四）までお尋ねください。

### 国民年金Q&A

**Q** 退職し、再就職が内定している場合、その間の空白期間も国民年金に加入しなければなりませんか。

**A** わが国の年金制度では、日本に住んでいる二十歳以上六十歳未満の人は、原則として、必ず何らかの年金制度に加入することになっています。これは、すべての国民が六十五歳になったときに受ける年金は、二十歳から六十歳になるまでの四十年間保険料を納めることで、満額の年金を受けられるようになっていくからです。

転職を希望して退職し、再就職して再び厚生年金保険に加入する予定の場合も同様です。その間がたとえ一ヶ月であっても、第一号被保険者として国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。年金には空白期間というものはありませんので、すみやかに国民年金加入の手続きをすることが必要です。

### 保育園だより

### 中央さくら保育園

春 小さなからだに真新しいカバン。新たな年がスタートしました。

初めての集団生活のはじめに、新入園児はちよつと戸惑っている姿もみられますが、すぐになれるでしょう。継続児はちよつぱり大きくなった気分、小さい友だちをなぐさめてみたり、世話をしようとする微笑ましい光景も見られます。

集団生活の中で、それぞれの個性を尊重しながら思いやり、物を大切にすることを育てて行きたいと思っております。

